

アーティストの生活を どのように調査するのか？

— 研究と実践の協働に向けて —

文化政策やその実践の現場では様々な人が働いています。しかし、その人たちの生活や活動については、現場で苦労や問題を共有しながらも明確に現状が訴えられることは多くありません。本企画では、美術の制作現場に関わりながら、アーティストの生活について調査を行うお二人から、現場から見えてくるアーティストの生活の現状と、調査と実践の連携・両立についてお話を伺います。芸術実践の場で調査研究を行うことが、文化政策研究の発展とともに、どのように制作現場やアーティストの生活の改善に寄与するのか、そのためのヒントを共有する場として、ぜひご参加ください。

2020年

12月6日(日) 13:00-15:00

一般参加歓迎・無料

※Zoomによるオンライン開催（定員20名）

登壇者(敬称略)



高橋 律子 (たかはし・りつこ)

1969年生まれ、横浜市出身。東京大学大学院で社会教育を専攻し、修士課程修了後、美術予備校学科講師等を経て、2002年より金沢湯涌夢二館学芸員、2005年から金沢21世紀美術館キュレーターとして勤務。2017年に子育て中の女性アーティストを支援する「NPOひいなアクション」を設立し、展覧会やワークショップの企画、またアーティストの実態調査などを美術館業務とは別に行っている。



浅井 南 (あさい・みなみ)

1990年生まれ、愛知県出身。名古屋大学大学院環境学研究科修了(社会学修士)。公益財団法人名古屋市文化振興事業団(市民ギャラリー矢田)を経て、現在、公益財団法人かすがい市民文化財団勤務。美術系事業スタッフとして、展覧会やワークショップの企画運営を担当。業務とは別に、現代美術作家の制作活動やキャリア形成をテーマとして、作家へのヒアリング調査を行っている。

申込フォーム

<https://forms.gle/7ZhvpcQMkuRyUk6b6>

※申込先着順。前日までにお申込みください。

※申込者には前日までに下記の連絡先より参加URLをメールします。

※ご登録頂いた個人情報は 本企画の連絡と事後アンケートにのみ使用します。



司会・企画者

高橋かおり（立教大学社会情報教育研究センター・助教）

連絡先(高橋かおり)

kartkhs@yahoo.co.jp

<https://sites.google.com/view/k-artkhs>